

【令和7年度大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ事業】

「ダイバーシティ理系選択応援プロジェクト」

香川大学&ブルネイ・ダルサラーム大学

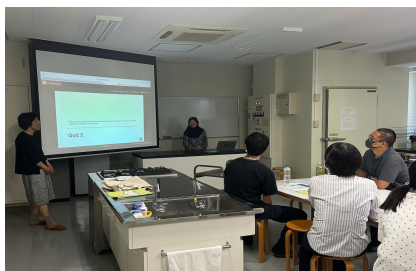
“グローバル×サイエンス” 教員向け研修会実施報告

日 時：2025年8月5日(火) 9:25～12:25
会 場：香川大学教育学部8号館 3F 調理学実習室
講 師：Nik Ani Afiah binti Hj Mohamad Tuah
(ブルネイ・ダルサラーム大学シニア講師、生涯学習センター副センター長)
Dk Ratna Suriani Pg Haji Osman
(ブルネイ・ダルサラーム大学講師、SHB 教育研究所)
村上祥子(香川大学教育学部非常勤講師)
高木由美子(香川大学教育学部教授、ダイバーシティ推進室長)
参加者数：研修参加者8名、香川大学学生8名、香川大学教員8名

香川県教育センター専門研修令和7年度食育プログラム研修講座と、大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ事業」合同事業～教員向け研修会として、ブルネイ・ダルサラーム大学教員を招聘しました。

第1部では、香川県内の本学教育学部の高木氏がロールモデルとして登壇し、希少糖のレクチャー、ブルネイ・ダルサラーム大学の Nik 氏から、ブルネイの教育事情について、レクチャーが行われました。第2部では、Nik 氏と、ラトナ氏によるブルネイ伝統料理（アンブヤット）の調理実習を行い、マイクロクレデンシャル（授業の細分化）の手法で科学と料理の関連性を学びました。次に村上氏（香川大学教育学部）による希少糖を使ったわらび餅の調理実習を行いました。

当日は最初に参加者の自己紹介が行われ、参加者からは、「希少糖を用いる講座に参加することができた」「ブルネイとの文化交流が大学ででき、なおかつ教員の学びもあり、このような機会が持ててよかった」（教員）「ブルネイ・ダルサラーム大学や、留学に対する興味が湧いた」（学生）といった声が寄せられました。



レクチャー(左上下)とアンブヤット(右上)およびわらび餅(右下)の作成の様子